

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 ゆい	代表者	岩崎光登志	法人・事業所の特徴	私たちは、ご利用者様それぞれの疾病・障がい・育まれた環境をそれぞれの個性と理解し、どのようにすれば自分らしく生きていくことができるかを常に模索していきま す。今を生きることを大切に考え、一瞬一瞬に喜びを感じられる努力をします。
事業所名	小規模多機能施設 ゆい青葉	管理者	大和田洋子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	2人	3人	0人	2人	2人	2人	2人	8人	23人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内での個別カンファを定期的に行えていないので、恒常化を目指す。 ・ご利用者様一人一人の情報共有に関して、申し送り以外に、それぞれのスタッフが仕事に入る前に確認できる体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が常に改善計画を意識して業務に当たらなければならないが、まだ不十分などころがある。 ・ご利用者様の情報については本人、ご家族へ聞き取りしなるべく多くの情報を把握出来る様に意識し、意思表示の難しい方については、表情や行動から本人の思いを汲みとり、その状態に合わせて寄り添い安心して過ごしてもらえるよう努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員を集めて、自己評価の話し合いをするのは難しいと思うが頑張ってほしい。 ・職員の取組みへの姿勢が高くなってきていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内のミーティング等で評価の振り返りや改善計画へ取り組んでいく。 ・委員の意見を来年度の外部評価へ反映していく。 ・職員へ評価の学習会を開き、理解や意思統一を図っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の改善計画では、事業所の外回りの強化に取り組みました。今回は施設内の環境整備に取り組んでいきます。 ・家具の配置や導線の確保など、利用者様の残存機能に考慮し、在宅生活に繋がる施設環境を整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅生活への足掛かり」を念頭に利用者様それぞれに合わせた家具の配置を職員間で検討し、実践しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関の飾りつけ等に力を入れていて良いと思います。 ・事業所の面積や空間を踏まえつつ、色々なイベントを開催していると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の生活用品や設備等、不具合はないか定期的な点検を行い、利用者の生活に支障のないよう努める。 ・感染症対策を徹底し、清潔な環境づくりに努めていく。また、家族との連絡を密にし、その取り組みを把握してもらい、安心に繋るよう努める。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが自治会やケアプラザ主催の研修会やイベントに参加する。 ・地域の人参加できるお祭りを企画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災イベント等にも顔を出すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのかかわり方はコロナ禍で変化しているので包括でも今後の課題でもある。これからも積極的に関わってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の交流に参加して施設の認知度をアピールする。地域の方を施設に招けるようなイベントを企画・提案する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続き、ご利用者様の自宅で生活環境を理解し、担当者会議などを通じて包括や民生委員、近隣の方やご友人などにも支援に参加していただけるようにする。ご利用者様にも自治会やケアプラザのイベントに参加していただく。	<ul style="list-style-type: none"> ・包括や民生委員、地域住民の方には話を聞くことが出来た。 ・地域ゴミ出し支援、配食サービス等を活用して独居の方の支援について連携を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも利用者以外のご近所の方にも積極的に関わってもらいたい。 ・ひとつの事業所で取り組むのは難しいと思うので、インフォーマルなサービスや多職種との連携を引き続き強めていってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策は徹底した上で近隣の散歩を行い、地域の方との関わりが途切れないようにします。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場で、地域での困りごとなどを共有できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様、新型コロナウイルスの影響により、地域の方の事業所への出入りが制限される状況ではあるが運営推進会議の場で事業所の行事やご利用者様の様子など掲載し、情報の発信ができた。 ・運営推進会議等にてご助言いただいたことを検討し、対策に取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の場で、日々の様子を写真を使って説明してくれるので、状況が良く分かって良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で事業所の様子を直に見て頂くことが難しいため、事業所の日常の様子を写真に撮り、地域の代表である運営推進委員の方に理解を深めていただけるよう努めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な災害や緊急の対応に備えて、災害時のBCP見直しに法人として取り組む。 また消防署の方や地域住民の方とも連携を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・域の方々に事業所の防災訓練への参加はできなかったが、事業所地域の防災訓練への参加はできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練も徐々に再開しているの、また参加して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画の見直しを行い、運営推進会議で利用者・家族へ災害時の対策についての説明を行う。 ・防災備蓄品などのリストの見直しと補充・整備を行う。